

フォーラムニュース

特定非営利活動法人奈良21世紀フォーラム会報

2013年新春号 No.22

平成24年実施の主な事業

3月3日 藤岡家住宅見学と五條の伝統食の試食

5月4日 平城京天平祭に万葉けまり出演

6月2日 清光林業現地見学会

7月16日 森と水の源流館主催講演会に協力

《以上 会報No.21で報告》

9月9日 吉野川紀の川源流まつりに協賛

10月7日 東吉野の伝承料理と丹生川上神社秋祭り

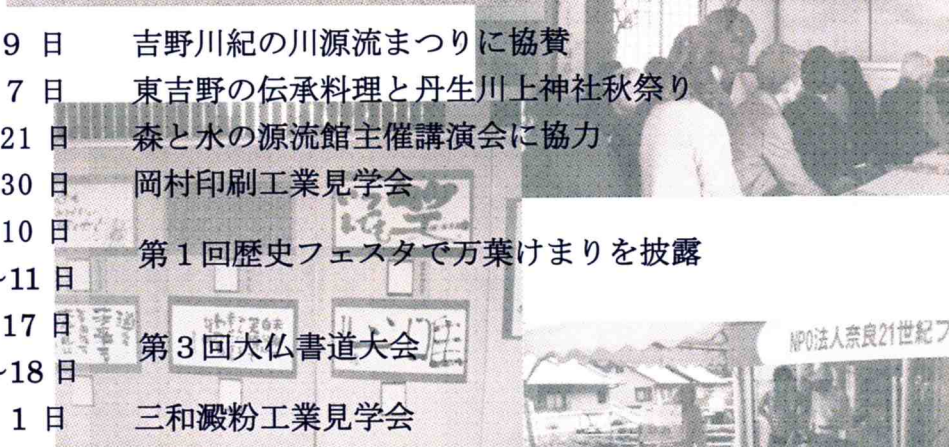
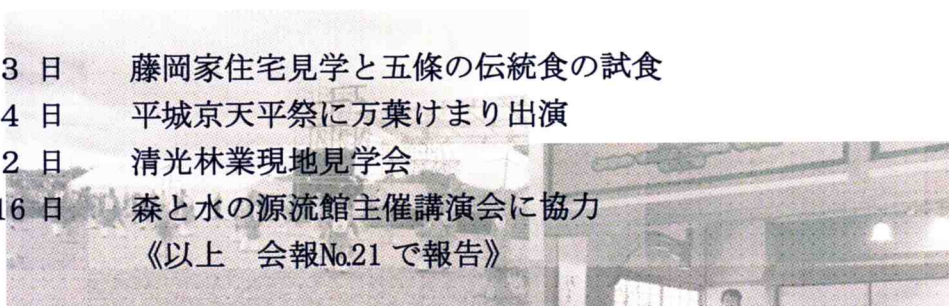
10月21日 森と水の源流館主催講演会に協力

10月30日 岡村印刷工業見学会

11月10日 第1回歴史フェスタで万葉けまりを披露
～11日

11月17日 第3回大仏書道大会
～18日

12月1日 三和澱粉工業見学会



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には新春を迎えられて、益々ご清祥のことと心からお慶び申し上げます。

振り返ってみますと、何かしら毎年人々の心を動かす大きな出来事が起こるものですが、昨年はまさにそのことが政治のうえで起こったと言える年でした。むろん、ロンドン・オリンピックの成果や山中伸弥教授のノーベル賞受賞は日本に明るさをもたらしてくれました。しかし、相対的に日本を取り巻く政治情勢や経済動向は内外ともに至って厳しく、そうしたなかで、国民による劇的な政権交代が選択されました。三年前のことが思い出されますが、それがこれからの日本にとって吉であるのか凶であるのか、しっかりと見守ってゆかねばならないでしょう。日本という国家は一体どこへ向かおうとしているのか、と。



私はひごろ、ここ奈良に都が置かれていた時代に関心があるものですから、当時の国家の最高主権者、つまり天皇はどのような考え方で日本を統治しようとしていたのかを探ったことがあります。たとえば元明天皇（在位 707～715）は、詔で「国家の政治は、何よりも国民の救済を優先すべし」とか、「天皇の公民たる農民を指導しなければならない官僚でありながら、私利私欲に耽り、民の財産を侵害すれば、その人物は《国家の大いなる害虫》だ」とか述べておられます。また元正天皇（在位 715～724）も、「国家が隆盛かつ安泰であるためにまず大切なのは、人民を豊にすることである」などと述べられます。現代にも通じる政治思想だと思われませんか。

こうした二代の天皇の精神は、当然のことながら次の聖武天皇（在位 724～749）に受け継がれ、即位のときには、「自分が保持している日本国の統治権は先祖の神々から負託されたものであるので、権限をいただいた神々に対する責任として、国民を撫でるがごとく慈しむ」と宣言されるのです。むろん現代と 1300 年前とではまったく政治体制が異なります。しかし、この即位のお言葉は、現在我々が我々の代表として政治家を選ぶという投票権が、元来はかつて日本を統一して皇祖神となった天皇家先祖から負託された天皇の権限に由来するのだと気付かしてくれます。日本にはそのような歴史があるのです。

どうか会員の皆様方には、それぞれのご意見が反映されるように、出来るだけ当法人の各企画事業にご参加いただき、当法人がさらなる発展を遂げることが出来ますよう願ってやみません。奈良 21 世紀フォーラムの活動を盛り上げて下さることを重ねてお願いし、新年のご挨拶と致します。

I 平成24年9月以降に実施した事業

1. 万葉けまりの保存

◎ 「第1回歴史フェスタ」に古代行事として万葉けまり出演

11月10日～11日、橿原公苑に於いて実施された第1回歴史フェスタに参加しました。

10日、会場で蹴鞠ボールでのリフティング指導を行い、会場に来られた高校生等がリフティングを体験しました。

二日目（11日）は万葉けまりの実演を行う予定でしたが、残念ながら降雨のため屋外での行事がすべて中止となり、けまり、リフティングとも行うことができませんでした。



2. 書の文化の伝承

◎ 第3回大仏書道大会「書くことは楽しい in 奈良」を開催

実施日 平成24年11月17日（土）～18日（日）

会場 東大寺大仏殿西回廊

作品応募校 57校

作品応募点数 1058点

席書会参加者 20名



書道展

奈良の伝統「書の文化」を継承、発展の為第3回大仏書道大会を開催しました。

書道展は全国の高校生、および大学生を対象に「大仏さんに日本の未来を祈願する」、「大仏さんにあなたの未来を祈願する」、「古事記の世界に取材した文言を捧げる」「奈良の思い出」、「仏典から題材を得たもの」を課題に作品を募集しました。

日本全国から、古事記を題材にしたものをはじめ、笑顔や人の絆、世界平和を思う気持ちを伝える言葉など、総数1048点の応募をいただきました。その中から100点を選



表彰式

と、11月17日、18日の二日間、東大寺大仏殿西回廊に展示をしました。また、

